

JFMA FM SUMMER SCHOOL 2019

JFMA FMサマースクール2019

カリキュラムは、FMプロフェッショナル向けですが、FMビギナーの方からベテランの方にもご参加いただける充実した内容にしています。FMの基礎から最新事例まで、最前線の講師陣から学べるこの機会に是非ご参加ください。

	第1時限 10:30~11:50 80分	第2時限 12:50~14:10 80分	第3時限 14:25~15:45 80分	第4時限 16:00~17:20 80分	
第1日 8/23 (金)	ホスピタリティ能力 FM概観 FMの考え方と事例から学ぶ 成田 一郎 JFMA専務理事	ホスピタリティ能力 ホスピタリティ 解体新書 佐藤 昌弘 ㈱JTBコミュニケーションデザイン	ホスピタリティ能力 ホスピタリティ 自己診断 佐藤 昌弘 ㈱JTBコミュニケーションデザイン	ホスピタリティ能力 ユーザーの声を 聞く・聴く・訊く 佐藤 昌弘 ㈱JTBコミュニケーションデザイン	ネット ワーキング 17:30 ~ 18:30
第2日 8/24 (土)	基本ビジネス能力 経営戦略 マーケティング 飯尾 英樹 IIMO代表コンサルタント	基本ビジネス能力 人材マネジメント 飯尾 英樹 IIMO代表コンサルタント	基本ビジネス能力 オペレーションマネジメント、 管理会計 飯尾 英樹 IIMO代表コンサルタント	基本ビジネス能力 統計学 飯尾 英樹 IIMO代表コンサルタント	
第3日 8/30 (金)	基本ビジネス能力 企業人としての影響力 飯尾 英樹 IIMO代表コンサルタント	基本ビジネス能力 ビジネスに必要な「感性」 コミュニケーション-1 飯尾 英樹 IIMO代表コンサルタント	基本ビジネス能力 ビジネスに必要な「感性」 コミュニケーション-2 飯尾 英樹 IIMO代表コンサルタント	基本ビジネス能力 MBAとFMの実践 川村 裕 JFMA教育研修委員会 委員 ジョーンズ ラング ラサール ㈱ シニアプロジェクトマネージャー	
第4日 8/31 (土)	FM専門知識 グローバルFMを 考える 松岡 利昌 JFMA理事 更新講習委員会 委員長 ㈱松岡総合研究所 代表取締役	FM専門知識 特別講演 建築の性能・品質・環境 を考える 小堀 哲夫 ㈱小堀哲夫建築設計事務所 主宰	FM専門知識 CRE戦略 板谷 敏正 JFMA理事 FM推進戦略委員会 委員長 プロパティデータバンク ㈱ 代表取締役社長	FM専門知識 企業の不動産戦略と 財務 篠原 由紀 ㈱ザイマックス不動産総合研究所 主任研究員	
第5日 9/6 (金)	FM専門知識 POEとブリーフィング (プログラミング) 成田 一郎 JFMA専務理事	FM専門知識 FM ワークプレイス戦略 大川 徹 JFMA教育研修委員会 委員 ㈱竹中工務店 ワークプレイスプロデュース本部 専門役	FM専門知識 SDGsとFMワークショップ 佐藤 彰 2030SDGs公認ファシリテーター SDGs de 地方創生公認ファシリテーター		
第6日 9/7 (土)	FM専門知識 BCP立案 (事業継続計画) 森 健 森総合研究所代表	FM専門知識 BIMのFMへの活用 猪里 孝司 JFMA BIM・FM研究部会 部会長 大成建設設計本部 企画部企画推進室長	FM専門知識 FMの業務 プロジェクト管理 山田 教彰 JFMA FMプロジェクトマネジメント研究部会 副部会長 JFMA人と建物のFM投資価値研究部会 副部会長	FM専門知識 健康経営とFM 人と組織のwell-being 齋藤 敦子 JFMA広報委員会 委員長 ココロワークスタイル研究所 主幹研究員	
第7日 9/13 (金)	FM専門知識 経営とFM FMの国際標準化 川村 正夫 JFMA ISO推進部長	FM専門知識 ファシリティマネジャー 読本 金 英範 JFMA教育研修委員会 委員 Workwell Japan カントリーマネージャー	修了式 14:10 ~ 14:20	ワークプレイス見学会	

*プログラム内容及び講師は変更になることがあります。

FMの
プロフェッショナル
養成講座/見学会

JFMA FM

定員
先着24名
申込受付中

SUMMER SCHOOL 2019

JFMA FMサマースクール2019

ホスピタリティ
能力

FM専門
知識・技術
ワークプレイス
見学会

FM
プロフェッショナル
養成

基本
ビジネス
能力

建築家
小堀 哲夫氏
による
特別講演
開催!

ファシリティマネジメント・総務サービスを、
組織内で実践する上で必要な基本エッセンス
[基本ビジネス能力][ホスピタリティ能力]
[FM専門知識・技術]を集中して学ぶサマースクールです。
「専門分野を横断的にマネジメントするための人材の育成」を目的に、
ファシリティマネジャーに必要な基本的知識と
実務に役立つ心構えから戦略論まで、FMを体系だてて学ぶカリキュラムです。
FMの専門知識だけではなく、ビジネスに必要な対人能力と経営の基本を学ぶチャンスです。
2019年度よりFM実践を体感する[ワークプレイス見学]もカリキュラムに加わりました。

楽しみながら学べる体験型FM塾7日間コース

■開催日程 / 受講時間 10:30~17:20 (全日程共通)

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
8/23(金)	8/24(土)	8/30(金)	8/31(土)	9/6(金)	9/7(土)	9/13(金)
ホスピタリティ能力	基本ビジネス能力	FMの専門知識 / ワークプレイス見学				

■講師 / 中面参照

■受講料 / 全7日間受講(テキスト・昼食込み)・税込み価格
会員 60,000円 非会員 70,000円 学生の方は事務局へ
お問合せください。

■お申し込み / JFMAホームページから

<http://www.jfma.or.jp/>

定員になりしだい締切りとさせていただきます。
お申し込みは、1社3名様までといたします。

■会場

JFMA会議室
公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-13-6
浜町ビル6F
TEL: 03-6912-1177
FAX: 03-6912-1178

交通機関

都営地下鉄新宿線 浜町駅より徒歩2分
都営地下鉄浅草線 人形町駅より徒歩6分
東京メトロ日比谷線 人形町駅より徒歩6分
東京メトロ半蔵門線 水天宮駅より徒歩9分





JFMA FM SUMMER SCHOOL 2019


JFMA FMサマースクール2019


各分野の最前線の講師陣による講義概要


本講義では、FMの基礎から最新の動向まで、FMの専門家による講義を行います。また、FMの基礎から最新の動向まで、FMの専門家による講義を行います。


	<p>成田 一郎 JFMA 専務理事</p> <p>8月23日：第1時限目</p>	<p>FM 概観－ FM の考え方と実例から学ぶ－ サマースクールの参加にあたって、まず初めにファシリティマネジメント（FM）の全体像をつかんでいただく講座です。FMの基本を学ぶと共に、ファシリティマネジャーの基本能力としてのホスピタリティマインド、経営・ビジネスセンス、FM 専門知識・技術に関するノウハウ・スキルなどの位置づけを学びます。そして、日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA 賞）の多くの実例から、FMの考え方、FMの取組みのポイント等を学びます。</p>
--	---	--


	<p>佐藤 昌弘 ㈱JTB コミュニケーション デザイン</p> <p>8月23日：第2～4時限目</p>	<p>本講座は、「CS・ホスピタリティ」の構造を理解した上で、その重要性を認識いただき、自分自身の「ユーザー対応上の“強み・課題”」を明確にし、ユーザー対応に必要なスキルの実践ポイントを理解することを目的とし、実施いたします。 ホスピタリティある対応を行う上で必須な「ユーザーが一般的に期待している対応」「期待以上の対応」とは何か?を、ホスピタリティメソッドに基づき解説いたします。</p>
--	---	---


	<p>飯尾 英樹 IIMO 代表コンサルタント</p> <p>8月24日：第1～4時限目 8月30日：第1～3時限目</p>	<p>ワンランク上のFMを目指すために必要不可欠な経営的視点と対人影響力を2日間の講義で習得します。第1日目は、MBA 科目の経営戦略～統計学までのエッセンスを、科目連携を図りながら一気通貫に学習し、確かな経営センスを持つFMを目指します。 第2日目は、俳優のスキルを応用した体験学習によって、人間の心理や感情の流れを察知する能力を養うとともに、人間関係構築や信頼感醸成に必要となるコミュニケーションスキルを学びます。</p>
--	---	---


	<p>川村 裕 JFMA 教育研修委員会 委員 ジョーンズ ラングラサール㈱ シニアプロジェクトマネジャー</p> <p>8月30日：第4時限目</p>	<p>FM（ファシリティマネジメント）のMとMBAのMは同じです。 そしてF（ファシリティ）はBAの大事な要素の一つです。本講座の前半でMBAの基礎知識を学ぶということは、後半に学ぶFMの知識や経験をビジネスの中で使いこなすための必要不可欠な技能を習得するということです。 本講座のMBAの最後の講義では会社のマネジメント視点でのFMの価値・重要性を確認し、FM業務におけるMBA手法の生かし方を習得します。</p>
---	--	--


	<p>松岡 利昌 JFMA 理事 更新講習委員会 委員長 ㈱松岡総合研究所 代表取締役</p> <p>8月31日：第1時限目</p>	<p>FMが誕生して、早40年。日本に導入されてからも30年余りの月日が経ちました。 実は、グローバルFMは刻々と進化を続けています。一方、欧米に学んだ日本流FMも独自の進化を遂げてきました。来年、2020年は東京オリンピックイヤーとして、インバウンドはますます加熱することでしょう。否が応でも日本の国際化は避けて通れません。 今こそ、日本独自に育んできた日本流FMモデルから、グローバルFMモデルへの変換を遂げる時に来ているのです。</p>
--	--	---


	<p>小堀 哲夫 ㈱小堀哲夫建築設計事務所 主宰</p> <p>8月31日：第2時限目</p>	<p>創造と学びと空間 環境とは、人間に大きな影響を与え続けるものです。なかでも、光や風、音は空間の中に漂いながら常に変化する、目に見えない空気みたいなもの。だからこそ、地域性や目に見えない環境要素をていねいにデザインすることで、人間の創造性を増幅させる力をもつような場になると考えています。 最新作の梅光学院大学新校舎「The Learning Station CROSSLITGHT」を中心に、設計を通して日々考えていることをお話したいと思います。</p>
--	---	---


	<p>板谷 敏正 JFMA 理事 FM 推進戦略委員会 委員長 プロバティデータバンク㈱ 代表取締役社長</p> <p>8月31日：第3時限目</p>	<p>我が国には資産額で2300兆円に達する不動産が存在し、その約半数の1000兆円超は民間企業や自治体などの法人が所有しています。これらの不動産は時代とともに大きな変革点に差し掛かっています。その中でも企業の戦略的な不動産戦略（CRE 戦略）は企業全体の経営戦略の重要な柱となっており高度化しています。 今回は国内企業のCRE・FM 戦略最新事例と、その背景となる会計手法やデータサイエンスなどの一端を紹介します。</p>
--	---	--


	<p>篠原 由紀 ㈱ザイマックス不動産総合研究所 主任研究員</p> <p>8月31日：第4時限目</p>	<p>不動産は、企業経営にとって不可欠な要素であり、企業活動の基盤でもあります。企業は、経済環境や経営戦略の変化に伴い、不動産を保有する・売却して賃借で利用するなどの方針を戦略的に判断していく必要があります。 この講義では、保有や賃貸の考え方や、シェアオフィスなどの活用を含めた昨今の企業不動産戦略について、企業やワーカーアンケートなどを紹介しながら考察、企業財務への影響についても見ていきます。</p>
--	---	--


	<p>成田 一郎 JFMA 専務理事</p> <p>9月6日：第1時限目</p>	<p>POE とフリーフィング（プログラミング） 建築やワークプレイスの設計プロセスで大切なことは、利用者のニーズや課題を的確にとらえて、その方針を明確に設計者に伝えることです。これは、品質の高い建築（ワークプレイス）づくりを可能にするだけでなく、無駄な設計時間を使うこともなく、満足度の高い建築（ワークプレイス）を作ることができます。それらを可能にする満足度調査（POE）や、設計と条件づくり（フリーフィングあるいはプログラミング）のポイントを学びます。</p>
--	--	---


	<p>大川 徹 JFMA 教育研修委員会 委員 ㈱竹中工務店 ワークプレイスプロデュース本部 専門役</p> <p>9月6日：第2時限目</p>	<p>本講では、まず「ワークプレイスのあり方」について概観した後、本論である「ワークプレイス戦略とは何か」について解説すると共に、そのプロセスとしてのワークプレイスづくりの進め方を中心にお話します。また、ワークプレイスは作っただけでは、その効果を発揮できないことから、稼働開始後の運用で留意する点についても触れます。 さらに、ワークプレイスを取り巻く環境は日々変化していることから、最近のワークプレイス動向についても説明します。</p>
---	--	--

	<p>佐藤 彰 2030SDGs 公認ファシリテーター SDGs de 地方創生公認ファシリテーター</p> <p>9月6日：第3～4時限目</p>	<p>「2030SDGs」「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター カードゲームを用いて、知識ではなく体験からSDGsを理解するワークショップを主に大企業を中心に行政（省庁・県庁）、大学、高校等からの要請を受け、約100回2,000人以上に開催しています。 本ワークショップでは、SDGsの理解促進の他にも、企業人事やメンタルコーチの経験から組織理念浸透、リーダーシップ、組織開発、コミュニケーション等の研修も致します。</p>
---	--	--


	<p>森 健 森総合研究所代表</p> <p>9月7日：第1時限目</p>	<p>本講義では、BCP（事業継続計画）の策定上の注意点や再点検のポイントをコンパクトに講義いたします。BCPは本来、策定したときが取り組みの真のスタートですが、現実の各企業のBCPは策定後に必要な「維持管理」がなされず、形骸化してしまうという例が後を絶ちません。 またBCPとは名ばかりで、実態・内容は防災マニュアルと何ら変わらないケースも散見されます。本講義では、BCPの形骸化防止・実効性向上の重点ポイントを講義します。</p>
---	---	---

	<p>猪里 孝司 JFMA BIM・FM 研究部会 部会長 大成建設㈱設計本部 企画部企画推進室長</p> <p>9月7日：第2時限目</p>	<p>BIM(Building Information Modeling) はライフサイクルにわたって建物情報を活用する手法です。BIMの活用により、FMに必要な建物情報の早期に獲得でき、LCCの低減や利用者へのサービス向上などの効果が期待できます。講義ではBIMの概要を説明し、FMでBIMを利用することのメリットを紹介するとともに、実際にFMでBIMを活用する際の手法や注意点について解説します。</p>
--	---	--

	<p>山田 教彰 JFMA FM プロジェクトマネジメント研究部会 副部会長 JFMA 人と場へのFM 投資価値研究部会 副部会長</p> <p>9月7日：第3時限目</p>	<p>プロジェクトの推進の中で重要な時間軸で考えることをグループワークによって体感していただけます。このプログラムは、社内研修プログラムの中で最も良いフィードバックを得た講座をサマースクール用に改組して提供するものです。このワークショップを通じて自ら考えること・ステークホルダーを巻き込むグループでのコミュニケーション力を養い、参加者の今後のキャリアの示唆となるように工夫しています。</p>
---	---	--

	<p>齋藤 敦子 JFMA 広報委員会 委員長 コクヨ㈱ワークスタイル研究所 主幹研究員</p> <p>9月7日：第4時限目</p>	<p>働き方のトレンドとして注目されているウェルビーイングと健康は、生産性や創造性への影響が大きいと言われています。昨今、多くの企業がウェルビーイングに配慮したワークプレイスづくりに取り組み始めていますが、F M視点で重要となるポイントを紹介します。 また、先進事例を通して、人と環境のWELLにフォーカスをあてたこれからのワークプレイスや、働き方の未来像について展望します。</p>
---	--	--

	<p>川村 正夫 JFMA ISO 推進部長</p> <p>9月13日：第1時限目</p>	<p>ドラッカーの著書に求められる経営の役割を含む、FMを対象としたマネジメントの必要事項を標準化したものが、ISO FM規格である。欧州でFM サービス提供企業が発展したため国際的なルール作りの必要性が高まり、2017年ISO 41011用語と定義、ISO 41012 戦略的業務委託と合意書の作成に対する手引きが発行された。2018年には認証規格ISO 41001 FMシステムのマネジメント規格が発行された。FM事業の全領域を対象としており、採用することで企業力の向上が期待される。</p>
---	---	--

	<p>金 英範 JFMA 教育研修委員会 委員 Workwell Japan カントリーマネジャー</p> <p>9月13日：第2時限目</p>	<p>現役インハウスのファシリティマネジャー40人が執筆した「未来を拓く～ファシリティマネジャーの皆様へ」の本をベースに、現場のFMの実話、難しさや喜怒哀楽、心構えや姿勢などFM教科書には書いていない実務内容を学びます。 熟練の先輩たちの移転プロジェクトでの秘話や失敗談、初心者FMerの素朴な疑問点やその解決策(QA集)、またIoTやテック時代到来に向けたFM的な指南アドバイスなど盛りだくさんです！</p>
---	--	---